

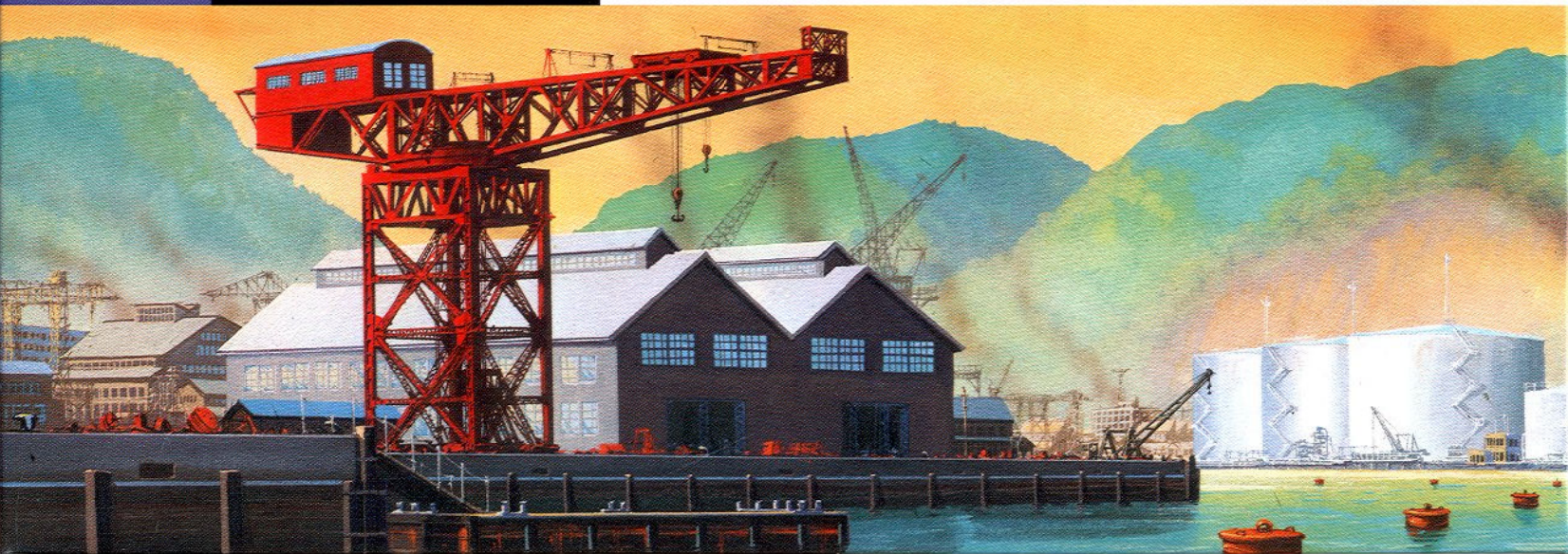
# 1/700

# WATER LINE SERIES



# HARBOUR SET

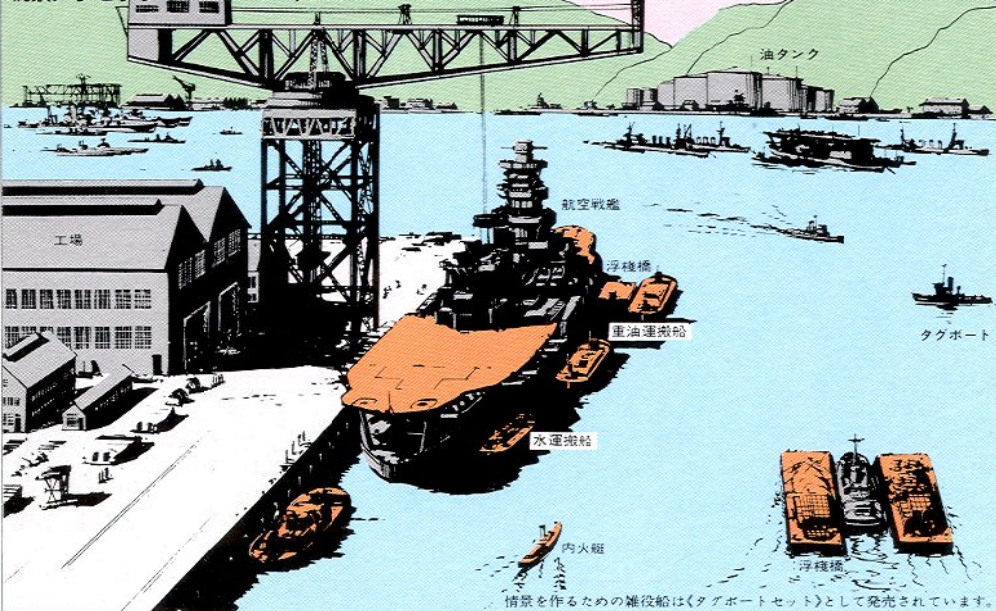
## ウォーターラインシリーズ《情景アクセサリ》 クレーンセット 接着剤別売 起重機・工場・係留ブイ・浮棧橋・油タンク



情景アクセサリ

クレーン

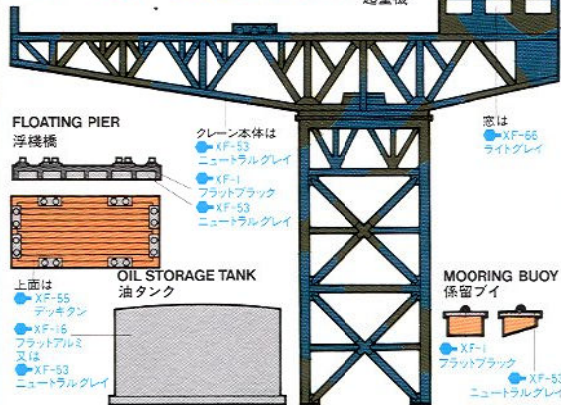
油タンク



情景を作るための雑役船は《タグボートセット》として発売されています。

### セット内容一覧 CONTENTS

CRANE  
起重機



FLOATING PIER

浮棧橋

- XF-53 クレーン本体は
- XF-53 ニュートラルグレイ
- XF-1 フラットブラック
- XF-53 ニュートラルグレイ

窓は ●XF-66 ライトグレイ

OIL STORAGE TANK

油タンク

- XF-55 上面は
- XF-16 デッキン
- XF-16 フラットアルミ
- XF-53 及は
- XF-53 ニュートラルグレイ

MOORING BUOY

係留ブイ

- XF-1 フラットブラック
- XF-53 ニュートラルグレイ

NAVAL PORT INDUSTRY

工場

屋根は ●XF-53 ニュートラルグレイ

窓は ●XF-66 ライトグレイ





# HARBOUR SET

ウォーターラインシリーズ(情景アクセサリ)

## クレーンセット

接着剤別売

起重機・工場・係留ブイ・浮桟橋・油タンク

クレーンセットは、下図の様な軍港のディオラマなどに使用できます。起重機は岸壁、ドックの横に設置されていました。起重機には砲塔など吊し、ドック内には半完成品の戦艦や、木などで船底を再現した巡洋艦などを入れた造船風景、浮桟橋による応急修理風景、係留ブイにつながれた空母などのディオラマを作ってみましょう。又タグボートセットと合わせて新しく展開するウォーターラインシリーズを楽しみましょう。

**塗装について**  
 《クレーン》大戦中、基本的には日本軍艦船体と同じ(灰色)で塗られていましたが、時代情勢により錆止塗料(赤茶)又は、くすんだ(緑色)の濃淡によるカモフラージュが施こされていた時もありました。

《工場》屋根は大平がスレート張り(灰色)で、側面はモルタル(明るい灰色)で塗られていました。窓はガラスを使用しているが、すす等の汚れで(暗い灰色)となっています。又コールタール

等で塗られていました。

《油タンク》(灰色)をベースとして、大戦中には敵機の発見を防ぐため、汚し塗装が施こされたと思われる。

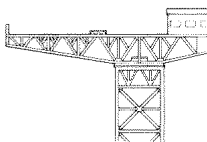
《浮桟橋》上面は板張(薄茶色)であり、ボラードは(灰色)で塗られていました。側面はゴム製でコールタール(黒)が塗られていました。

《ブイ》錆止塗料(赤茶)で塗られていましたが、大戦中は大半が(灰色)で塗られました。

イラストレーション・上田毅八郎

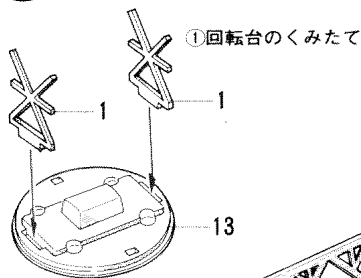
### ウォーターラインシリーズで作る情景



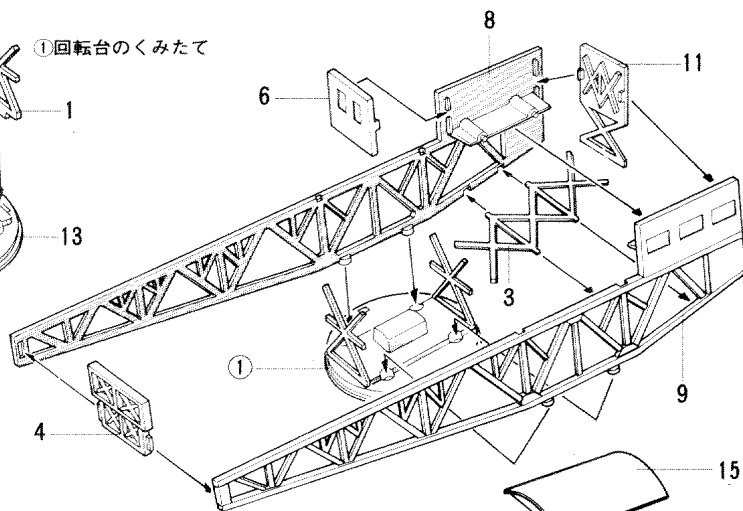


《作る前にお読みください》  
 ★ランナー（枝）から部品を切りはなす場合必ずニッパーかナイフ等を使って、ていねいに切りはなして下さい。★接着剤は組立てる部品の両方に少しずつ付けて接着して下さい。  
 ★塗装は箱の裏面を参考にして下さい。

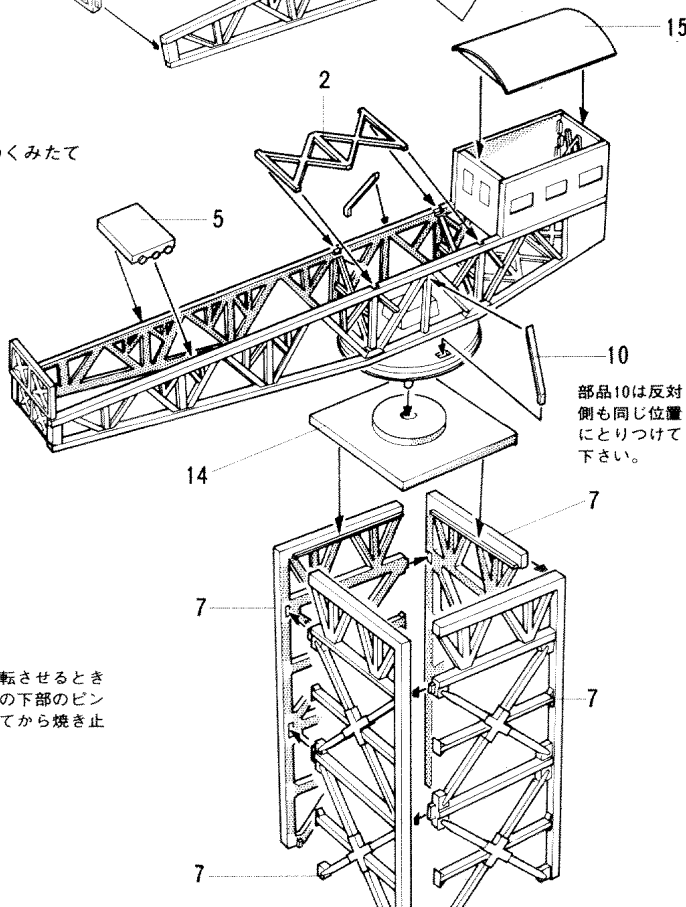
### 1 《クレーンの組立て》



### ②クレーン上部のくみため

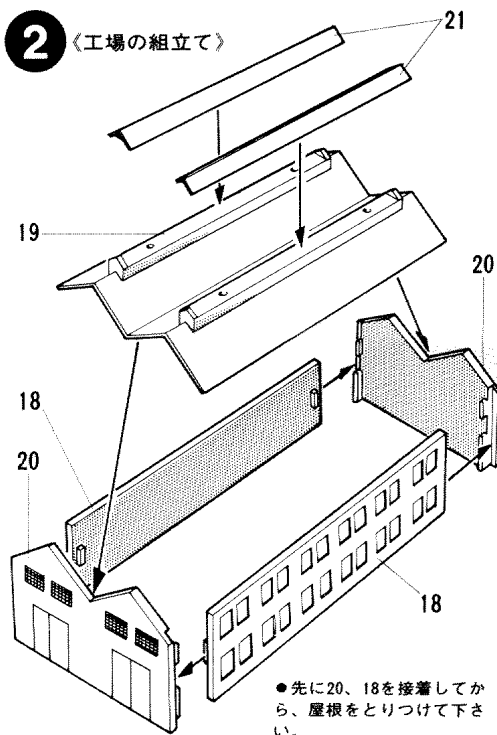


### ③クレーン全体のくみため

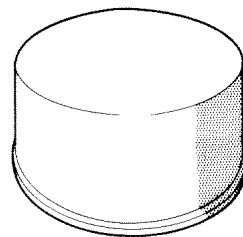


クレーン上部を回転させるときは、部品13回転台の下部のピンを、部品14に通してから焼き止めましょう。

### 2 《工場の組立て》



### 3 《油タンク》



### 4 《ブイ》



### 5 《浮桟橋》

